

## 2023 年度日本食品海外プロモーションアドバイザリーボード開催要旨

(1) 開催日時 2023 年 12 月 22 日 (金) 14 時～17 時

(2) 開催場所 ジェトロ会議室 9 階 C、D 会議室

### (3) 出席者

#### <アドバイザリーボードメンバー>

青木 優 株式会社 MATCHA 代表取締役社長

小西 利行 POOL inc. CEO & Creative Director

平野 伸一 元アサヒビール代表取締役社長

冢形 晶子 Y.A.&Co.合同会社

山庄司 岳道 食肉輸出入コンサルタント/  
学校法人 竹岸学園 竹岸食肉専門学校非常勤講師

(五十音順 敬称略)

#### <JFOODO>

中山 勇 執行役

北川 浩伸 執行役

高橋 由篤 事務局長

武田 三範 海外プロモーション事業課長

大曲 美樹 海外プロモーション企画課主幹

大曲 幸代 事務局長代理

他

#### <オブザーバー>

水野 政義 農林水産省輸出・国際局長

山口 靖 農林水産省大臣官房輸出促進審議官 (兼輸出・国際局)

吉松 亨 農林水産省輸出・国際局輸出企画課長

原 健太郎 農林水産省輸出・国際局輸出企画課輸出戦略調査官

常葉 光郎 経済産業省大臣官房審議官(貿易経済協力局・農林水産品輸出担当)

久染 徹 経済産業省貿易経済協力局貿易振興課参事官

#### **(4) 議事次第**

開会

- (1) 自己紹介
- (2) 2023 年度の取り組みについて説明
- (3) 意見交換
  - ①品目プロモーションについて
  - ②食文化発信について
  - ③今後の JFOODO 本部と海外現地事務所の在り方
  - ④その他

閉会

#### **(5) 主な助言内容**

- ・ 購買に対する価値が大きく変わってきており、単なる消費活動ではなく、共感（ストーリー）と参加性（コミュニティづくり）が重要であり、日本の食材に繋がった上、どうやって人に話したくなる食体験にしていくか、想定・準備しておくことが必要。
- ・ toB と toC は、車の両輪であり、共働させていく必要がある。
- ・ 輸出量の数字以外にも、組織として正しい方向に進んでいるかを測る共通認識があると良い。
- ・ 地方には、海外の旅行者が興味を持つような隠れたストーリーが多数埋もれており、食材と一緒に掘り起こし、資産として可視化していくことで、インバウンドを通じて日本食を好きになる人を増加させることができる。
- ・ 日本のアニメは、海外で非常に人気があり、食との組み合わせも親和性が高く、有効であるが、海外のアニメファンは非常に先鋭的であり、その人達が何を想像しているか、何を体験させて、可視化するのかをよく検討していく必要がある。
- ・ インバウンド需要の細分化、地方発掘が進むことも踏まえ、活字媒体での情報提供はポディーブローのように効いてくるものであり、重要である。

(以上)